

分布のあてはめ(寿命の一変量)

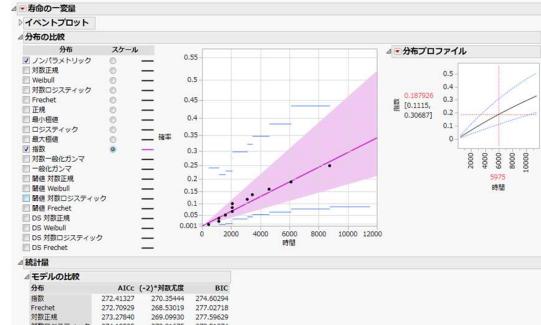
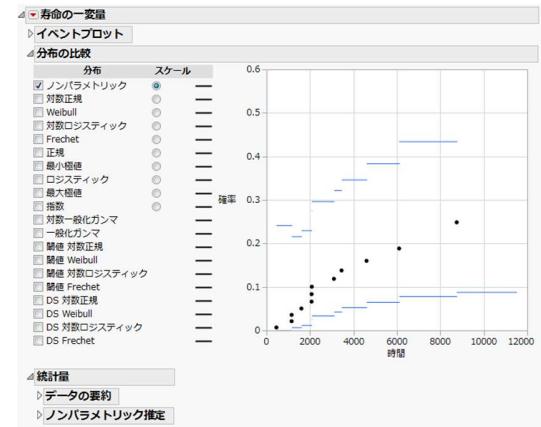
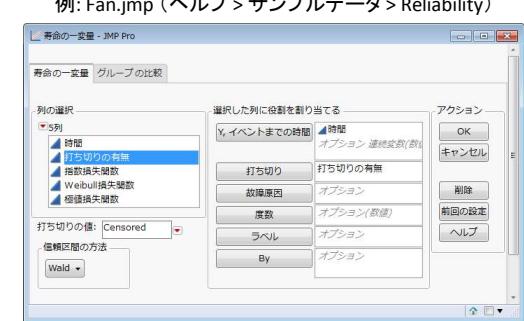
寿命の一変量プラットフォームで、イベント発生までの時間のデータの探索や分布のあてはめを行えます。

分布のあてはめ(寿命の一変量)

- 分析 > 信頼性/生存時間分析 > 寿命の一変量を選択します。
- 列の選択から時間の連続変数(青い三角のアイコン)を選択し、Y, イベントまでの時間をクリックします。
- データが打ち切りの値を含む場合、打ち切りの変数を選択し、打ち切りをクリックします。必要に応じて、打ち切りの値を変更します(デフォルト値は 1)。
- 信頼区間の方法を選択(デフォルトは Wald)し、OK をクリックします。

JMP® は以下の内容を表示します:

- イベントプロット(開く場合、灰色のアイコンをクリック):故障(Xで表記)と打ち切り(三角で表記)のイベントをグラフカルに描画します。
- 分布の比較のパネル: 様々な分布をあてはめ、比較を行うことができます。
- 統計量のパネル: データの要約やパラメータ推定値、選択した分布ごとのプロファイルを表示します。



分布の比較を行う場合:

- 分布にスケールを適用するため、スケールの下のラジオボタンをクリックします。選択した分布がデータによくあてはまる場合、プロットされた点は直線に沿って表示されます。
- 分布の比較の下のボックスにチェックを入れて分布をあてはめると、あてはめ線、陰影つきの領域で信頼区間、分布プロファイルが表示されます。
- 一番上の赤い三角ボタンですべての分布のあてはめすべての非負分布のあてはめを選択し、AIC や BIC 等のモデルの比較の基準で全モデルを比較できます。

ヒント:

- グループ間で同じ寿命の一変量を比べる場合、寿命の一変量ウィンドウでグループの比較を使います。生存曲線の表示やタブ形式で結果を表示等の他のオプションは、一番上の赤い三角ボタンから使用可能です。
- 競合する故障原因を分析する場合、起動ウィンドウで故障原因に変数を入力します。
- 連続量の分布は、分析 > 一変量の分布でもあてはめることが可能です。

注意: 詳細に関しては、JMPのヘルプで「寿命の一変量」を検索するか、または、信頼性/生存時間分析(ヘルプ>ドキュメンテーション以下)で「寿命の一変量」の項をご参照ください。